

箕島学区まちづくり推進委員会

委員長 檀上 靖典

（問合せ先） 084-953-0412（箕島公民館）

事業内容

- (1) 家庭教育講座（コンサート）（12月）新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
- (2) 子ども広場（料理教室ほか）（8月～2月）
- (3) 資料館整備（通年）
- (4) シルバースクール（幼稚園・小学校清掃活動）（8月23日・3月28日）
- (5) 夏まつり盆踊り大会（8月8日）新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
- (6) 伝統文化継承（和太鼓）（通年）
- (7) 箕島ふるさとまつり（11月29日）新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
- (8) 三世代交流（とんどまつり）（1月11日）新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
- (9) コミュニティ育成（公園整備・町内一斉清掃）（通年）
- (10) まちづくり推進委員会運営事業（通年）
- (11) 公衆衛生推進事業（環境整備）（通年）
- (12) 防火・防災・防犯対策（12月4日防災訓練）・イノシシ対策（通年）
- (13) 高齢者地域活動推進（元気広場）（通年）
- (14) 地域福祉活動推進（グラウンドゴルフ・ミニ松竹梅・料理教室）（7月～2月）



【 子ども料理教室 】



【 サロン 】



【 清掃活動 】

成果

コロナウイルスが感染症拡大している中、対策を踏まえて少しでも多くの事業ができるよう工夫し地域の活性化を図るための意識を高めることができた。

課題

年間を通じて感染症対策が求められる中で、多くの事業を中止せざるを得ない現実に苦慮した。人が集うことから始まる地域活動は、本来、密になるために工夫し努力して来たように思うが、コロナ禍では、如何に多くの人を集めないで行事を継続していくか...という全く逆の発想が求められている。

課題解決にむけて

コロナ禍が今後何年続くかはわからないが、新たな感染症が流行する可能性はあり得るため、現在定着しているソーシャルディスタンスの考え方を継続する中で、分散型の行事に変更していけるかどうかの検討が必要である。

箕島学区を住みよいまちにするために

イノシシ対策をしました！

今年度のイノシシ対策は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため多くの人数での作業はせず、感染対策をしたうえ各自治会で壊れた場所の修復を中心に作業を実施しました。

イノシシが食べ物を探すために、設置してある柵の弱いところを探して、力づくで壊そうとするので、設置後の修復作業がとても重要になります。現在設置している3km程の防御柵の何か所かは毎年壊されたり、変形しているので各自治会が行う修復作業が必要となります。この作業がイノシシ対策で一番重要な活動だと考えています。



防災訓練をしました！

例年どおりの学区全体の防災訓練は行わず、自治会の役員や自主防災組織の役員、消防団の役員の皆さんに参加していただき、コロナ禍における感染症対策の一つとして室内用の簡易テント設営訓練を実施しました。

